

通算オ22号

1964~65-11-4

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第20回例会

- ※ 司 会 新 会 長
- ※ 斉 唱 " 君ガ代 " 手に手つないで
- ※ ゲ ス ト 俣野純夫君 (遠藤会員) 市川芳夫君 (青柳会員)
- ※ ビジター 阿 部 恵三男 君 (森 R.C.)
川 村 久 雄 君 他6名 (函館 R.C.)
大 村 宝 一 君 他9名 (函館東 R.C.)

※ 会 長 挨拶

1. R.I. 本部から10月19日附で加盟の承認が参りました。これに関連した各種の文書も来ております。10月23日附の加盟祝状、又 R.I. 会長、R.I. 事務総長からの激励文等も来しました。
2. 北海道電力主催の電力懇談会に出席して来ました。
3. 10月31日新造船松前丸の函館ドックよりの引渡祝賀式が同船で開催され参列しました。立派な出来栄で、12月中旬就航の由です。
4. 11月3日に杉崎合同容器社長が、社会事業の功績によつて勲三等に叙勲されたので、11月18日の例会に御出席を願い、祝辞を言上したいと考えております。
同氏は以前に入会をおすすめしたこともあり、此の機会にお話も伺いたくお誘いしたわけです。ほぼ了解を得ております。

※ 幹 事 報 告

1. 函館厚生院高丘寮落成に際しての当クラブよりの寄附に対し礼状が来しました。
2. R.I. から加盟承認のコピーが到着しました。
3. チャーターメンバー2名の変更通知がきました。
4. 北村会員が、交換された愛知県犬山 R.C. のパーナーを持参されました。
5. パーナーをお持ち帰りでない方は、是非御持参下さい。
6. 例会後理事会を開きます。

満州事変に入り、兵器でもある自動車はすべてアメリカ依存であることに不満を持つた軍部は「自動車製造事業法」を制定し、トヨタ、日産、いすゞが誕生した。同時に外車の輸入関税を大巾に引上げた。然し法律で自動車が出来たものではなく、やがて大東亜戦争に突入し、アメリカとの縁は切れた。

終戦後空襲により潰滅的打撃を受けた日本の自動車メーカーも、占領軍司令部より民需トラック生産工場の許可を得て生産再開にこぎつけ、同時にアメリカとの技術提携が話題となつて来た。然し今度はアメリカ側の喝発的事情即ち朝鮮事変の為日本への投資を断念せざるを得なくなり、その間に日本の自動車業界は飛躍的發展を遂げたのである。さて今更に「自由化」が問題となつているが、事ここに至つては恐らくアメリカの進出は無いものと思われる。今後の日本の自動車業界はアメリカ資本を排除し否対決して進まねばならぬ運命にある。

※ スピーチ (2) 木綿わたについて 飯田 貢一 君

快眠は人間の健康の三要素の一つであり、その条件の一つは寝具である。最近マットレス、合成綿の登場で木綿わたが忘れられたかに思われるが然らず、この20年間に約4倍の増加をみている。木綿わたは日本の住宅事情、生活様式にマッチし、衛生的で而も価格が安く、寝具に最適なものとして愛用されている。寝具の条件として、寝返りを打つに適當な硬さ、適當な吸湿性、適當な重さ、又よく肌に合ひしなやかさが必要であり、木綿わたは之等の条件をほぼ満足させるものである。アクリル(ボンネル、Xラン)、エステル(テトロン)、塩化ビニール(テピロン)、アセテート、ビニロン、ナイロン等は夫々欠点があり、木綿わたに及ばないと信ずる。木綿わたの唯一の欠点と言へば、合成綿と比較して重過ぎることであるが、我社に於ては既に軽い木綿わたつまり樹脂加工綿の製造に成功している。今後木綿わたが息の永いベストセラーズを続けてゆく為には、時代の要求にマッチした軽くて扱い易い而も長もちする品質を工夫してゆく事が必要であり、これが我々の課題である。

※ 出 席 率 (前回分)

会員数30名 当日出席19名 他欠出席6名 計25名 (83.33%)

※ 次回の卓話予定者 神原金一君 成田勇司君 大田秀雄君

次 回 例 会 日 1 1 月 1 1 日

通算才 23号

1964~65-11-11

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生明館

例会日 毎週水曜日

12.30-13.30

第21回例会

※ 富田特別代表挨拶

10月19日付で函館北R.C.の加盟が承認され、誠におめでたいことです。滝本ガバナー当時にチャーターの期待をしていたのですが、一部規約の変更があつた等のため遅くなつたのは遺憾でした。待望久しい独立クラブとなつたのであるから、このクラブが発展する方法及び拡張策を研究し、その実現に努力されたい。チャーター・ナイトまでには会員が増えると思うが、そのためには各人が適当な方々を推薦しなければなりません。又承認されると出席報告をしなければなりません。親睦を計るには出席が最も大切であり、出席のもつ意義をよく理解されて出席率の向上について研究し、出席率の良いクラブとなつていただきたい。承認後は他の仕事も殖えます。チャーター・ナイトもしなければなりません。全会員の研究によつて立派な組織作りをしていただきたい。特に会員の選考は難しいので、充分な考慮が必要です。加盟の遅延をお詫びし、承認の得られたことを心からお祝い致します。

※ 会長謝辞

テレトリーや職業分類上の問題で承認が難渋しました。予定が延びただけに、富田特別代表の御苦労はそれだけ大きかつたと存じます。当クラブのチャーターに払われた特別の御尽力に対し、あらためて心から御礼申し上げます。

※ ニコニコ箱

1. 酒井会員の長女淑恵さんが11月1日華燭の典をあげられました。お祝い申し上げます。
2. 今月は誠に良い月であります。大いにニコニコ箱を御利用下さい。

※ 出席率(前回分)

会員数 30名 当日出席 23名 他ク出席 3名
計 26名(86.67%)

※ 次回の卓話予定者

神原金一君 大田秀雄君 成田勇司君

次回例会日 11月18日

※ 司会 遠藤 副会長 ※ 斉唱 "奉仕の理想"

※ ゲスト 市川芳夫君(青柳会員)

※ ビジター 丸山一男君 他8名(函館R.C.)

戸田国雄君 他10名(函館東R.C.)

※ 副会長挨拶

会長さんは東瀬棚農協の落成式に出席して不在のため、本日は代つて司会致します。又会長報告は次回になります。

※ 幹事報告

新会員候補者名簿を配布しました。異議ある方は22日迄に申し出て下さい。

※ ニコニコ箱

1. ベンケイ綿(飯田貢一会員)の経理課長代理川村和さんが、中小企業庁長官から優良従業員として表彰されました。おめでとうございます。
2. 神原会員の長男隆一さんが11月8日結婚されました。お祝い申し上げます。

※ 映画 1.レンジャセブン号の月世界撮影記録(7分)

レンジャセブン号にのせた6台のカメラがとらえた月面衝突までの月表面の模様を、カリフォルニアで受信したものである。月までの距離約1900キロから撮影開始。月面に接近するに従い、今迄人間が見る事が出来なかつた小噴火口や、火口の岩石まで見えて来る。正に快挙である。そして衝突。時1964年7月31日。

2. 太陽を追つて(30分)

太陽を追つて東から西へ、一新聞社のジャーナリストがアメリカ合衆国を横断旅行した記録である。彼の課題はアメリカを出来るだけ知ることであつた。両面はニューヨークの摩天楼から始まり、重工業、インディアナ州の放線状操車場、外国貿易の盛んなシカゴ、ネブラスカ州の機械化された大農業地帯、自然のまゝに残された西部の大断崖や大谿谷、巨大なフーバーダム、ダムで潤う